

議事6 連携計画に基づく主な事業の実施状況について（報告）

1) 路線評価

〔施策6〕 適正な評価と改善案の作成 〔事業〕(1) 路線評価・検証の実施

路線評価項目について、以下のとおり整理した。

《市内完結路線》

路線名	往路→	←復路	年度	運行 本数 (往復)	経常経費 (円)	経常収益 (円)	香取市 補助金等額 (円)	輸送人員 (人) ※事業者報告	平均 乗車密度 (人)	収支率 (%)	備考
大倉線	小見川総合病院 小見川駅	佐原粉名口車庫	H22	4.0	7,967,844	1,703,398	6,264,446	7,787	0.7	21.3	増便による経費増 <H21.10~H22.9>
			H23	4.0	7,725,407	1,597,202	6,128,205	7,324	0.7	20.5	
			H24	4.0	7,816,968	1,490,547	6,326,421	6,946	0.6	18.8	
神里線	小見川駅	佐原粉名口車庫	H22	4.0	8,720,589	3,618,244	5,102,345	11,845	1.4	41.3	減便による経費減 <H21.10~H22.9>
			H23	4.0	8,441,236	3,600,530	4,840,706	12,495	1.4	42.3	
			H24	4.0	8,562,450	3,621,578	4,940,872	13,295	1.4	41.7	
上の台線	山倉	佐原粉名口車庫	H22	3.0	6,486,638	2,314,558	4,172,080	7,465	1.1	35.5	
			H23	3.0	6,398,881	2,083,206	4,315,675	6,424	1.0	32.2	
			H24	3.0	6,425,121	2,003,515	4,421,606	6,201	0.9	30.8	

□近年の傾向

〔大倉線〕

平成21年に小見川総合病院や県立佐原病院を経由する等の再編を行ったが、輸送人員は減少している。平均乗車密度がさらに低下し0.6人となったため、利用状況の把握に努め、啓発等の改善策を検討する。

〔神里線〕

平均乗車密度及び収支率は横ばい、乗車人員も微増ないし横ばいで推移している。

〔上の台線〕

輸送人員が減少傾向にあり、平均乗車密度、収支率ともに悪化している。

平均乗車密度が低下し1.0人未満となったため、利用状況の把握に努め、啓発等の改善策を検討する。

他市町にまたがる路線

路線名	往路	復路	年度	運行本数(往復)	経常経費(円)	経常収益(円)	香取市補助金等額(円)	輸送人員(人)事業者報告	平均乗車密度(人)	収支率(%)	備考	
府馬線	小見川駅	旭駅	H22	2.0	7,448,530	2,745,026	1,169,783	7,283	1.6	33.1	H21.12～旭中央病院へ延伸	
				旭農高	1.0	5,899,619	2,099,746	916,552	5,768			1.6
				旭中央病院	5.0	12,536,539	4,846,747	1,804,952	12,257			1.6
		旭駅	H23	2.0	6,404,248	2,436,600	986,773	6,302	1.6	33.3		
				旭農高	1.0	3,392,514	1,290,253	507,078	3,338			1.6
				旭中央病院	5.0	15,936,046	6,063,377	2,317,302	15,680			1.6
		旭駅	H24	2.0	6,621,028	2,605,236	998,727	5,934	1.7	34.3		
				旭農高	1.0	3,500,179	1,376,317	512,276	3,137			1.7
				旭中央病院	5.0	16,445,229	6,471,949	2,340,729	14,738			1.7
栗源線	多古	佐原駅	H22	6.0	16,971,747	9,896,995	4,466,998	22,921	2.3	58.3		
				4.0								
			H23	6.0	16,986,721	9,954,933	4,439,871	25,436	2.4	58.6		
				4.0								
			H24	6.0	17,315,736	10,913,202	4,042,560	26,502	2.6	63.0		
				4.0								
成田空港線	ジェイフィルム	成田空港	H22	5.0	9,374,320	3,767,063	1,790,625	13,258	1.2	40.0		
			H23	5.0	9,247,580	2,916,203	2,021,863	8,509	0.8	31.2		
			H24	5.0	9,285,627	3,039,456	1,994,655	8,560	0.9	32.3		
旭中央病院線	道の駅くりもと	旭中央病院	H22	2.0	5,060,823	947,168	4,113,655	1,811	2.3	18.7		
			H23	2.0	5,294,966	710,715	4,584,251	1,551	1.6	13.4	H23.4～山倉方面へ延伸	
			H24	2.0	5,789,262	598,620	5,190,642	1,441	1.4	10.3		

近年の傾向

[府馬線]

平均乗車密度、収支率でほぼ横ばいで推移している。

[栗源線]

乗車人員の増加に伴い、平均乗車密度、収支率ともに改善されている。他路線と比較しても収支率は高い。

[成田空港線]

平成22年から平成23年にかけて乗車人員が大幅に減少し、平均乗車密度及び収支率が悪化したが、平成24年は若干改善した。乗降調査の結果では、香取市外の停留所での利用者の減少があり、通勤・雇用状況等が関係している可能性があるが要因は不明。

平均乗車密度が低下し1.0人未満の状況のため、利用状況の把握に努め、啓発等の改善策を検討する。

[旭中央病院線]

輸送人員が大幅に減少し、平均乗車密度及び収支率が悪化している。平成23年4月にルートの延伸、途中乗降を可とするなどの改正を行ったが、改善されていない。旭市の病院事情が関係している可能性がある。

利用状況の把握に努め、啓発等の改善策を検討する。

循環バス路線

路線名	往路	復路	年度	運行本数 (往復)	経常経費 (円)	経常収益 (円)	うち運行収入	差引 -	輸送人員(人)	収支率 (%)	備考																				
									事業者報告																						
佐原循環	香取市役所	北佐原・新島	H22	5.0	16,552,414	4,330,295	4,330,295	12,222,119	6,044	26.2																					
				5.0					15,456																						
				10.0					1,581																						
		北佐原・新島	H23	5.0					18,508,896			4,979,129	4,767,129	13,529,767	5,173	25.8															
				5.0											17,676																
				10.0											3,308																
		北佐原・新島	H24	5.0											19,805,729			5,348,296	4,916,296	14,457,433	5,652	24.8	H24.6.2 周遊ルート・時刻表改定								
				5.0																	16,834										
				11.0																	4,819										
小見川循環	小見川駅	東南	H22	5.0	15,615,723	1,392,697	1,392,697	14,223,026		4,213	8.9										H22.11.1 時刻表改定										
				5.0						4,752																					
		東南	H23	5.0						16,660,356														2,004,425	1,788,425	14,655,931	7,954	10.7	H23.4.1 岡飯田地区延伸		
				5.0					5,149																						
		東南	H24	5.0					16,341,479			2,720,953	2,300,953	13,620,526		9,931	14.1														
				5.0												7,470															
		山田循環	山田支所												H22	8.0		8,703,326	646,187	646,187		8,057,139	7,352							7.4	
															H23	8.0							9,288,180								
H24	8.0				9,038,680	1,096,415	892,415	7,942,265			8,243				9.9	H23.4.1 時刻表改定															
栗源循環 (ワゴン車)	栗源支所		H22	8.0	3,308,954			3,308,954			4,004																				
			H23	8.0	3,396,562			3,396,562		4,355																					
			H24	8.0	3,413,000			3,413,000		4,148																					

近年の傾向

[佐原地区]

平成24年度の北佐原・新島ルートは、1日平均利用者数が28.8人(平成23年度:26.7人)と前年度と比べ2.1人増加。平成23年度は震災の影響により利用者が減少しているものの、平成24年度においても引き続き迂回運行や運休停留所によるマイナス要因がある中で増加した。

大戸・瑞穂ルートは、1日平均利用者数が68.6人(平成23年度:72.3人)と前年度と比べ3.7人減少。6月、10月、12月の1日平均利用者数の減少が大きい。

周遊ルートは、1日平均利用者数が42.4人(平成23年度:28.3人)と前年度と比べ14.1人増加。平成23年度は震災の影響により利用者が減少しているものの、平成24年6月2日に行った改正により、震災前の平成22年度の1日平均利用者数33.3人をも大きく上回り、過去最高の1日平均利用者数となった。

[小見川地区]

平成24年度の東南ルートは、1日平均利用者数が40.8人(平成23年度:32.5人)と前年度と比べ8.3人増加。前年度に比べ全ての月で増加しており、過去最高の1日平均利用者数となった。

西ルートは、1日平均利用者数が30.6人(平成23年度:21.3人)と前年度と比べ9.3人増加。前年度に比べ全ての月で増加しており、過去最高の1日平均利用者数となった。

[山田地区]

平成23年4月1日の改正後、減少傾向に歯止めがかかり、平成24年度は、1日平均利用者数が33.7人(平成23年度:32.4人)と前年度と比べ1.3人増加。シルバー割引の利用が多いと見られ、収支率は横ばいになっている。

[栗源地区]

平成23年度に近年の減少傾向に歯止めがかかったが、平成24年度は再びやや減少に転じている。

2) 乗降調査及びアンケート調査

(**施策2** 市内交通サービスの格差是正 **事業**(1) ニーズ調査及び現況把握)

バス路線に対する要望・意向の把握のため、継続調査として実施している。

ニーズの把握については、例年バスの利用者に対し行ってきたが、利用者がほぼ固定していることから対象者が毎年ほぼ同じになっており、結果として毎年同じような調査結果となっている。そこで本年度は新たな視点での改善の可能性を探ることとし、直接運行に携わっている乗務員だからこそ見えてくる(専門的な見地からの)改善点やアイデア、日頃から乗客と接していることによる乗客の意見や要望等の把握を期待して、乗務員に対するアンケート調査を実施した。

なお、乗降調査は継続して行うことで過去からの変動や今後の見込み等を把握できるため、本年度も例年同様実施した。

本年度の結果は取りまとめ中のため、調査実施の概要を報告する。

項目	内容
調査対象路線	各路線バス等利用者乗降調査及び乗務員アンケート調査 大倉線 神里線 上の台線 旭中央病院線 成田空港線 府馬線 与田浦線 栗源線 佐原循環バス(北佐原・新島ルート) 佐原循環バス(大戸・瑞穂ルート) 佐原循環バス(周遊ルート) 小見川循環バス(東南ルート) 小見川循環バス(西ルート) 山田循環バス 栗源循環バス
実施方法	(1)各路線バス等利用者乗降調査 調査対象 ・各路線の停留所で乗降する全ての者 調査方法 千葉交通株、関鉄観光バス株、ジェイアールバス関東株、社会福祉協議会に調査期間中、路線バス等利用者乗降調査(うち学生の人数含む)について協力依頼する。 調査期間 平成25年5月20日(月)～5月26日(日) (2)乗務員アンケート調査 調査対象 ・調査対象路線の乗務員 調査方法 千葉交通株、関鉄観光バス株、ジェイアールバス関東株、社会福祉協議会に調査票の回収、取りまとめについて協力依頼する。 回答期限 平成25年6月28日(金)
今後の方向性	今後は乗客へのインタビュー調査と乗務員へのアンケート調査を隔年で実施するなど、新たな調査方法を導入することも検討しつつ、調査が固定化・形骸化しないよう実施する。

平成 25 年 4 月 25 日

〇〇〇〇〇(株)
乗務員 様

香取市役所企画政策課

路線バス・循環バスの利用促進に係る乗務員様へのアンケート調査

アンケート調査ご協力をお願い

香取市では、バス利用者の現況及びニーズの把握を目的に乗降調査や乗客へのインタビュー調査等を行っていますが、今年度は、例年行っておりますインタビュー調査にかえて、乗務員の皆さまへのアンケート調査を実施させていただきます。

つきましては、ご多用の折大変恐縮ですが、日ごろ乗客と接している立場から「現場から見えてくること」についてご記入いただきますようお願いいたします。

なお、1 週間の乗降調査は例年同様実施いたしますので併せてよろしくようお願いいたします。

調査対象路線

〇〇〇〇線、〇〇〇〇線、〇〇〇〇線

ご記入に際しての注意点

上記の調査対象路線に複数乗務されている場合は、1 路線につき 1 枚ご記入ください。また、書ききれない場合は複数枚に分けてご記入ください。

路線名		乗務員氏名	
<p><u>1 乗客からよくある要望等がありましたら記入願います。</u> (記入例)【バス停以外でも乗り降りしたい。午後〇時台にもう 1 便ほしい。バス停にベンチを設置してほしい】など、実現の可否を問わずご記入ください。</p>			

引き続き、裏面のアンケートにもご記入をお願いします。

2 乗務員の立場から、多くの方に利用してもらうためにはどのような改善をしたら良いか伺います。

(記入例)【 方面は必要ない。 方面に延伸すれば乗るのでは？車両を小型化して狭隘道路でも運行できるようにする。JRや他のバスとの接続改善】など、実現の可否を問わずご記入ください。

3 その他(バスに関して、どのようなことでもお気軽にご記入ください。)

ご協力ありがとうございました。ご記入いただきました内容につきましては、今後のバス路線の見直し、確保維持のための参考とさせていただきます。